

耐震問題で揺れる  
UR(旧住宅公団)の団地  
生活基盤の住居が足元から揺らぐ…



11/15(土)

映画と話  
@TAMA

①16:00 ②18:00

上映終了後トークなしで入れ替え

懇親会19:25 2時間

ゲスト:早川由美子監督

山形国際ドキュメンタリー映画祭 2011 スカパー! IDEHA 賞受賞作品

監督・撮影・編集:早川由美子 音楽:Sage、岡ゆう子、hou 事業仕分け映像提供:株式会社ドワンゴ  
チラシ画:井上ヤスミチ チラシレイアウト:富田吉樹 2011年 / 日本 / HDビデオ / カラー / 73分

住民の安全のためにあるはずの「耐震診断」を  
住民の追い出しのために使う。  
このURの姿勢こそ、「耐震」「偽装」ではないのか。  
怒りで耐えがたい震えが来る。

ジャーナリスト 大谷昭宏

## 映画のあらすじ

耐震性不足を理由に取り壊しが決まった、UR(旧住宅公団)管理の高幡台団地73号棟(東京・日野市)。これまで、URから耐震改修を行うと知らされていた住民たちは、突然の方針転換に驚く。

本当にこの建物は危ないの? 直すことは出来ないの? と疑問を持った住民たちが、情報公開請求で資料を請求するも、構造設計図はすべて黒塗り、決定の過程も不透明なまま。UR団地の削減方針が決まったのと、時を同じくして発表された73号棟の取り壊し。背景にあるのは団地の削減、民営化なのか?



市場原理の嵐の中で吹き飛ばされる記憶と暮らし。  
私たちはもはや根づくことすら許されないのだろうか。  
73号棟で起きていることは私たち自身の未来である。

住まいの貧困に取り組む 稲葉剛  
ネットワーク世話人

入場料: ¥1,500 (各回入替15名)

懇親会: 予約制 (10名)

場所: ダイニングバー・モンキーランド

多摩市豊ヶ丘1-11-1(小田急・京王多摩センター駅徒歩15分)

お申し込みは、予約フォーム [www.taenoha.com](http://www.taenoha.com)

または 050-5891-1977 主催:たえのは

たえのは

検索



/taenoha



@taenoha



(多摩センター駅東口から信号渡って線路下を直進、ラーメン店「麺である」さんを左折、乞田川沿いを右折、2つの橋を過ぎてまっすぐ、白い階段がモンキーランドの入口です)